

# JAあきがわ自己改革取組宣言

組合員および地域にお住まいの皆さまと共に歩み続けるJAとなるべく、JAあきがわは総合事業を展開します。

「未来へ続く東京農業の確立」のため「都市農地の保全」と「農業の担い手の維持と拡大」をめざし、積極的な事業展開と地域に密着したJAを目指してまいります。

- JAは農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開していきます。
- 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいきます。
- 農業者以外の方でも、JA各事業をご利用いただいている方を、JAの応援団として准組合員に加入いただいています。
- 信用事業や共済事業などを含めた総合事業の全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農支援事業や組合員特別価格販売などが可能です。

**総合事業により取り組みが可能になる営農指導事業の予算額は25,624千円です。**

主な取り組みは次のとおりです。

- 農畜産物の規格・品質等の指導を徹底し、各直売所における販売品の需要と供給の調整に努めます。
- 学校給食への食材提供を推進し、新たな販路を模索するとともに生産農家の増加を促進します。
- 管内農畜産物を利用した第6次産業化を推進します。
- 土壌診断による施肥指導の継続、ドリン系農薬土壌並びに残留農薬検査を実施するとともに農薬使用の適正指導を徹底し農畜産物の安心安全を推進します。
- 廃棄農業用資材、有効期限切れ農薬の回収、生分解性マルチフィルムの施用の奨励等環境に配慮した営農への取り組みを進めます。
- 営農支援事業による農業用機械等の出張修理、無料点検、高齢農家への耕作支援を継続し、新たな支援を模索します。
- 栽培技術講習会や先進地視察研修会を開催し、栽培技術、生産の向上のサポート体制を充実させます。
- 鳥獣害対策として簡易電気柵設置費用を助成します。